

# 秋の文学講演会

2021年度 徳島県立文学書道館 文学講座

聴講無料  
申込必要

## I

### 詩はあなたのすぐそばにある

こいけ まさよ

講師 小池 昌代 (詩人、作家)

日時 10月10日(日)

格差社会が進むいま、差別や貧困に苦しむ人びとが増えている。法律の分野、介護の場面、また音楽や美術など文学以外の分野で言葉の力、詩の力はどのように働いているだろうか。共に考え、話したい。



1959年、東京都生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。第一詩集『水の町から歩きだして』刊行以後、詩と小説を書き続ける。97年、詩集『永遠に來ないバス』で現代詩花椿賞、2000年、『もっとも官能的な部屋』で高見順賞、08年『パパ、バサラ、サラバ』で小野十三郎賞、10年『コルカタ』で萩原朔太郎賞。01年、エッセイ集『屋上への誘惑』で講談社エッセイ賞。小説では、07年『タタド』で川端康成文学賞、14年『たまもの』で泉鏡花文学賞。

## II

### 核時代のヨブの物語

せいらい ゆういち

講師 青来 有一 (作家)

日時 11月7日(日)



1958年、長崎市生まれ。長崎市役所に勤めながら小説を書き、1995年「ジェロニモの十字架」で文学界新人賞、2001年「聖水」で芥川賞、07年『爆心』で伊藤整文学賞、谷崎潤一郎賞を受賞。キリシタン殉教や原爆など長崎の歴史を背景としたテーマで描き続ける。ほか著書に『小指が燃える』『悲しみと無のあいだ』『フェイクコメディ』(電子書籍)など。元長崎原爆資料館館長。現在、長崎大学核兵器廃絶研究センター客員教授。

広島、長崎の原子爆弾による破壊で始まった核兵器の時代。「人間はなにかをまちがったのではないのか」という問いが、私たちの心をよぎる。世界を破滅させる力をもった人間の自由について、旧約聖書「ヨブ記」の物語を読み解きながら考える。

I、IIとも

時間 14時～15時30分(開場13時)

場所 1階ギャラリー

定員 先着100人

#### 〈申込方法〉

次の①～⑥をご記入のうえ、はがき、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。当館1階受付でも申し込めます。

- ① 講師名(2人記入可) ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名(ふりがな)  
⑤ 年齢 ⑥ 電話番号(緊急連絡時に必要ですので必ずご記入ください)

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1  
TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540  
メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp